

黒沢尻東地区 展勝地西岸景観点検・修景実験事業

<地域の資源>

北上市を代表する景勝地である「展勝地」。展勝地は、陣ヶ丘、男山、国見山や、桜並木等に多くの観光客が訪れている。



<課題①>

展勝地は、北上川西岸や和賀川等も構成要素に含まれているが、北上市民、観光客が注目するのは桜並木やレストハウスのある東岸のみとなっている。

<課題②>

北上川西岸、特にレストハウスの対岸は、整備等がこれまで行われてきておらず、あまりよい景観とはいえない。

<今回のテーマ>

「展勝地西岸を地域の宝として、市内外の人々に誇れる場所にする」

○そのために本事業で実施すること

- ①展勝地西岸の景観の構成要素、課題を洗い出す
- ②よりよい景観形成に向けた修景実験の実施
- ③今後の資源活用に関しての方向性を検討する。

○景観点検

日時：平成25年8月31日
 場所：展勝地・北上川河川敷周辺
 参加者：22名
 レストハウス側と対岸堤防側（西側）の2コースから点検し、良い景観、悪い景観等を多く見つけ出し写真に記録した。



○修景実験

日時：平成25年9月28日
 場所：展勝地及び対岸河川敷周辺
 参加者：38名
 景観改善として、河川敷を一部刈払い、修景実験を行った。荒れ放題になっている河川敷は専門業者に刈払いを依頼、その後刈った草木を住民で集積整理した。



○検討会

日時：平成25年10月23日・12月12日・平成26年1月16日
 場所：黒沢尻東地区交流センター
 今回の景観点検、修景実験をふまえ、将来像、今後の取り組みの具体的な方針の検討を行った。

対象エリア



修景実験の前後比較



<今回の成果>

- ・地域住民の力で、よい景観をうむことができるということが実感できた。
- ・行政とのパートナーシップにより、地域課題がより解決することが経験できた。

<今後の取り組み>

- ・西岸から見る展勝地の桜並木の景観を活かせる場所づくり
- ・桜まつりで列車を利用する観光客のため、船着場までのルート案内板の設置
- ・西岸からの桜並木を楽しんでもらうための桜の植樹